



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	ニセコ町の地域資源の多様性と多面性：活用の担い手・ステークホルダーの整理を中心に
Author(s)	高橋, 葉子
Citation	CATS 叢書 = CATS Library, 15, 65-71
Issue Date	2021-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/82085
Type	departmental bulletin paper
File Information	CATS15_6.pdf



ニセコ町の地域資源の多様性と多面性

——活用の担い手・ステークホルダーの整理を中心に——

高橋 葉子

ニセコ町商工観光課 参事

北海道大学観光学高等研究センター 研究員

1. ニセコ町における地域資源

ニセコ町の観光を支える地域資源と言え、その美しい姿から蝦夷富士と称される「羊蹄山」や清流日本一になった「尻別川」など、豊かな自然資源がまず思い浮かぶ。しかし、大正から昭和にかけて羊蹄山ろくの農産物の集積場であったニセコ町には、当時の賑わいを伝える石造倉庫群やでんぷん工場など、人文資源を多く目にする事ができる。また、日本文学者の有島武郎による農地開放や相互扶助の思想は、今もニセコ町民が身近に感じている人文資源だ。さらに比較的新しい人文資源としては、2020年にニセコ中央倉庫群の隣接地に誕生した「ニセコ鉄道遺産群」がある。もともと「旧簡易軌道真狩線狩太駅及び軌道の転車台跡」であったところに、ニセコ町にゆかりの深い「蒸気機関車 9643」や「ニセコエクスプレス（キハ 183-5001）」等が移設され、鉄道遺産群を構成している。ニセコエクスプレスは、かつてニセコエリアと新千歳空港を結び、多くのスキー客を運んだ、町民にはなじみ車両だ。2017年に老朽化により廃車となったが、2019年にクラウドファンディングにより車両購入費や移送費用が寄せられ、保存が実現した。

史跡、名勝、天然記念物等の登録文化財としては、国指定天然記念物「後方羊蹄山の高山植物帯」、町指定史跡「北栄ストーンサークル（環状列石）」、町無形民俗文化財「ニセコ赤坂奴」がある（表 1）。いずれもニセコ町を知る上で貴重な地域資源である。

1.1 地域資源リスト

表 2，表 3，表 4 は、ニセコ町の観光関連冊子等を基に抽出した地域資源の一覧とその構成である。自然資源が多いイメージのニセコ町だが、改めて整理してみると人文資源も 50 項目以上、観光関連冊子等に掲載されていることがわかる。

表 1 ニセコ町における登録文化財

国指定	【国指定天然記念物】 後方羊蹄山の高山植物帯 (しりべしやまのこうざんしょくぶつたい／指定：1921（大正10）03.03）
道指定	—
町指定	【町指定史跡】 北栄ストーンサークル（環状列石） (ほくえいすとーんさーくる／指定：1990（平成2）03.05）
町指定	【町無形民俗文化財】 ニセコ赤坂奴 (にせこあかさかやっこ／指定：1990（平成2）03.05）

出所：筆者作成

表 2 地域資源リスト／自然資源

No	資源名	大分類	小分類	掲載誌				
				ニセコ町 観光ガイド	ニセコエクス プレス	ニセコ湖 沼ウオー キング	ニセコ観 光圏マップ	その他
1	羊蹄山	自然資源	山岳	●	●	●	●	
2	ニセコアンヌプリ	自然資源	山岳	●	●	●	●	
3	モイウ山	自然資源	山岳	●	●	●	●	
4	尻別川	自然資源	河川・峡谷	●	●		●	
5	ニセコアンベツ川	自然資源	河川・峡谷	●	●	●	●	
6	ニセコアンベツ一号川	自然資源	河川・峡谷			●		
7	ニセコアンベツ二号川	自然資源	河川・峡谷			●		
8	カシュベツ川	自然資源	河川・峡谷	●			●	
9	ルベシベ川	自然資源	河川・峡谷				●	
10	ドロ川	自然資源	河川・峡谷				●	
11	有島ボンド（イトウ飼育池）	自然資源	動物				●	
12	後方羊蹄山の高山植物帯	自然資源	植物					●
13	エゾノリュウキンカ	自然資源	植物	●				
14	エゾゼンテイカ	自然資源	植物			●		
15	フギレオオバキスミレ	自然資源	植物	●				
16	シラネアオイ	自然資源	植物	●				
17	ムラサキヤシオ	自然資源	植物	●				
18	カタクリ	自然資源	植物	●				
19	エゾエンゴサク	自然資源	植物	●				
20	イソツツジ	自然資源	植物	●		●		
21	チングルマ	自然資源	植物	●				
22	ヒオウギアヤメ	自然資源	植物	●				
23	ゼンテイカ	自然資源	植物	●				
24	ヒオウギアヤメ	自然資源	植物			●		
25	キバナシャクナゲ	自然資源	植物			●		
26	ワタスゲ	自然資源	植物			●		
27	ムラサキヤシオオツツジ	自然資源	植物			●		
28	ショウジョウバカマ	自然資源	植物			●		
29	ウコンウツギ	自然資源	植物			●		
30	ミツガシワ	自然資源	植物			●		
31	タチギボウシ	自然資源	植物			●		
32	シラネアオイ	自然資源	植物			●		
33	ミズバショウ	自然資源	植物			●		
34	ザセンソウ	自然資源	植物			●		
35	エゾオヤマリンドウ	自然資源	植物			●		
36	フサスギナ	自然資源	植物			●		
37	双子のさくらんぼの木	自然資源	植物		●		●	
38	パウダースノー	自然資源	自然現象	●				
39	星空	自然資源	自然現象	●				

出所：筆者作成

表3 地域資源リスト／人文資源

No	資源名	大分類	小分類	掲載誌				
				ニセコ町 観光ガイド	ニセコエクス プレス	ニセコ湖 沼ウオー キング	ニセコ観 光圏マップ	その他
1	ニセコ駅前温泉 綺羅乃湯	人文資源	温泉	●	●	●		
2	ニセコ五色温泉（五色温泉郷）	人文資源	温泉	●	●	●	●	
3	アヌプリ温泉	人文資源	温泉	●	●	●	●	
4	昆布温泉	人文資源	温泉	●	●	●	●	
5	東山温泉	人文資源	温泉	●	●	●	●	
6	有島記念館	人文資源	博物館・美術館	●	●		●	
7	善我神社	人文資源	寺社・仏閣・教会	●				
8	弥照神社	人文資源	寺社・仏閣・教会	●			●	
9	狩太神社	人文資源	寺社・仏閣・教会	●				
10	アヌプリ森林公園	人文資源	庭園・公園	●	●			
11	東啓園（善我森林公園）	人文資源	庭園・公園	●	●		●	
12	1,000m台地展望広場	人文資源	庭園・公園	●	●		●	
13	宮山と千本桜	人文資源	庭園・公園	●			●	
14	桜ヶ丘公園	人文資源	庭園・公園	●	●		●	
15	さかもと公園（甘露泉）	人文資源	庭園・公園	●	●		●	
16	ニセコ町運動公園	人文資源	庭園・公園	●				
17	桜ヶ丘公園	人文資源	庭園・公園	●	●		●	
18	ニセコ町農村公園「ちびっこ広場」	人文資源	庭園・公園				●	
19	親子の坂	人文資源	郷土景観	●			●	
20	綺羅街道	人文資源	郷土景観	●			●	
21	見返坂	人文資源	郷土景観				●	
22	ニセコTMRセンター	人文資源	その他				●	
23	有島農場開放記念碑	人文資源	史跡	●	●		●	
24	北栄ストーンサークル（環状列石）	人文資源	史跡	●	●		●	
25	ニセコ鉄道遺産群（転車台、SL等）	人文資源	史跡				●	
26	ニセコ中央倉庫群	人文資源	建造物	●	●		●	
27	ニセコ大橋	人文資源	建造物	●	●		●	
28	王子発電所	人文資源	建造物	●				
29	五色温泉橋	人文資源	建造物		●			
30	JRニセコ駅	人文資源	建造物	●	●		●	
31	ハリポート	人文資源	建造物	●			●	
32	ニセコビレッジゴルフコース	人文資源	テーマ公園・テーマ施設	●	●		●	
33	ニセコゴルフコース	人文資源	テーマ公園・テーマ施設	●	●		●	
34	ニセコアヌプリ国際スキー場	人文資源	テーマ公園・テーマ施設	●	●	●	●	
35	ニセコビレッジスキー場	人文資源	テーマ公園・テーマ施設	●	●	●	●	
36	ニセコモイワスキーリゾート	人文資源	テーマ公園・テーマ施設	●	●	●	●	
37	ニセコ町テニスコート	人文資源	テーマ公園・テーマ施設	●	●			
38	ニセコ町パークゴルフ場	人文資源	テーマ公園・テーマ施設	●	●			
39	ニセコ町ゲートボール場	人文資源	テーマ公園・テーマ施設		●			
40	ニセコ町陸上競技場	人文資源	テーマ公園・テーマ施設		●		●	
41	狩太神社祭	人文資源	年中行事	●	●			
42	ニセコ赤坂奴	人文資源	芸能・興行・イベント					●
43	シーニクナイト&ヤキニクナイト	人文資源	芸能・興行・イベント	●	●			
44	七夕のタベ花火大会	人文資源	芸能・興行・イベント	●	●			
45	ニセコマラソンフェスティバル	人文資源	芸能・興行・イベント	●	●			
46	ニセコクラシック	人文資源	芸能・興行・イベント		●			
47	ニセコハロウィン	人文資源	芸能・興行・イベント	●	●			
48	ニセコビュウプラザ 秋の収穫・大感謝祭	人文資源	芸能・興行・イベント	●	●			
49	農産物	人文資源	食	●				
50	酒（ビール、日本酒、ワイン）	人文資源	食					
51	乳製品	人文資源	食		●			

出所：筆者作成

表 4 地域資源リスト／その他資源

No	資源名	大分類	小分類	掲載誌				
				ニセコ町 観光ガイ ド	ニセコエ クスプレ ス	ニセコ湖 沼ウオー キング	ニセコ観 光圏マッ プ	その他
1	ニセコ町五色温泉インフォメーションセンター	その他資源	観光交流施設	●	●	●	●	
2	道の駅 ニセコビュープラザ	その他資源	観光交流施設	●	●		●	
3	ニセコ町民センター	その他資源	観光交流施設	●	●		●	
4	ニセコ町総合体育館	その他資源	観光交流施設	●	●			
5	ニセコミルク工房	その他資源	観光商業施設	●	●		●	
6	ダチョウ牧場	その他資源	観光商業施設	●	●		●	
7	グリーンバイク+	その他資源	交通機関	●			●	
8	ニセコユナイテッドシャトル	その他資源	交通機関	●				
9	にこっとバス	その他資源	交通機関	●	●			

出所：筆者作成

1.2 地域住民が守る地域資源

図 1 は、表 2、表 3、表 4 の地域資源の中から、観光客に認知度が高い資源と地域のアイデンティティと結びつきが強い資源をプロットした図である。

様々な地域資源がある中で、圧倒的に認知されているのは、地域のシンボルでもある「羊蹄山」、道の駅として町内有数の誘客力を持つ「ニセコビュープラザ」、さらには「ニセコミルク工房」やスキー場等の観光施設である。これらの資源はメディアからの注目度も高く、デスティネーションとしてのニセコ町のイメージ形成に大きく貢献していると推測される。



出所：筆者作成

図 1 主な地域資源の位置づけ

一方で、観光客からの認知度は限られているものの、地域のアイデンティティとの結びつきの強い地域資源もある。例えば、有島ポンド（イトウ飼育池）、ニセコ鉄道遺産群、ニセコ中央倉庫群は、ニセコ町の歴史や生活文化を伝える地域資源であり、いわゆる観光施設ではないものの、住民にとっては地元、故郷ニセコ町のイメージを構成する重要な構成要素となっている。

観光振興は一義的に経済的な恩恵を指向して取り組まれることが多いが、同時に、社会文化的な恩恵を無視できないことも事実である。地域資源を観光資源として活用する一方で、それを保全すると同時に教育の一環として価値を伝える取り組みを行うことで町民自身の地域への愛着や誇りの醸成につながり、それが結果的に持続可能な観光を導く。経済効果のみに焦点を当て、量的拡大によってその最大化を目指したかつてのマスツーリズムではなく、社会的、文化的な影響をも考慮した観光振興こそ、ニセコ町が目指す観光のあり方であるとの考え方が町内でも共有されつつあり、そうした認識が日本版持続可能な観光ガイドラインモデル地域への申請など、近年の観光政策にも反映されている。

表5 主要な人文地域資源

資源名	有島ポンド（イトウ飼育池）
分類	自然資源／動植物
資源の紹介	絶滅がやぶまれる尻別川のイトウ（別名オビラメ）を救うために、尻別川オリジナルの遺伝子を引き継ぐ若いイトウたちを飼育。性成熟するまで育てて採卵し、生まれた稚魚を尻別川に戻すことによって、尻別川のイトウ復元の呼び水にする計画だ。
資源の保全・活用の担い手	【オビラメの会】 専門研究者らの協力を得ながら2001年、「オビラメ復活30年計画」という基本方針を立て、尻別川産イトウ親魚を飼育し、人工授精によって得たイトウ稚魚を再び川に戻す活動を続けている。

資源名	ニセコ鉄道遺産群
分類	人文資源／史跡
資源の紹介	「簡易軌道真狩線狩太停留所及び転車台跡」「旧新得機関区転車台」「蒸気機関車」「ニセコエクスプレス」の4つで構成される。簡易軌道真狩線は、1936年、狩太（現ニセコ）と真狩間が開通。奥地からの農産物を狩太に輸送し、そこから国鉄に積み替えて全国各地に発送された。1953年に廃止。旧簡易軌道真狩線狩太駅及び転車台跡は、2019年に「北海道遺産」に選定された。
資源の保全・活用の担い手	【ニセコ町鉄道文化協会】 蒸気機関車や旧新得機関区転車台など維持サポートやイベント、簡易軌道真狩線（北海道遺産）の歴史掘り起こし等の活動を行う。

資源名	ニセコ中央倉庫群
分類	人文資源／建造物
資源の紹介	JRニセコ駅前に並ぶ倉庫群は、大正から昭和にかけて、羊蹄山ろくで獲れる農産物の集積場として建てられたもの。歴史的な建造物として保存するとともに、地域活性化の拠点として改修・リノベーション。
資源の保全・活用の担い手	2016年7月にニセコ中央倉庫群を改修し、アートや文化を発信する施設として再生した。指定管理者（株式会社住まいるニセコ）による管理（貸館、施設管理）が行われている。旧でんぶん工場内では、地域おこし協力隊OBがカフェを営業している。

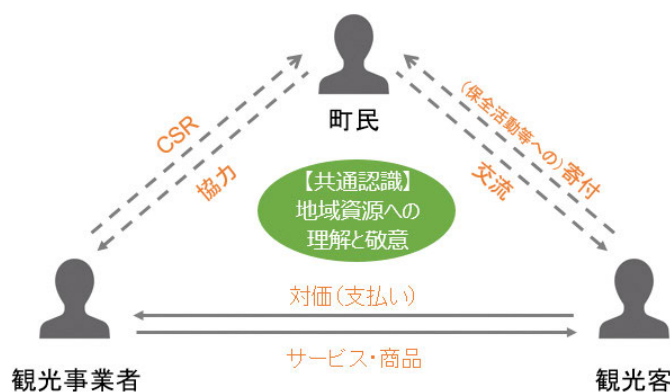
出所：筆者作成

2. 活用の担い手・ステークホルダーの整理

2.1 ステークホルダーの関係性

地域資源の活用に関わるステークホルダーは、主に町民、観光事業者、観光客の3つである（図2）。観光事業者は、地域資源に価値を加えてサービスを観光客に提供し、対価を得ている。逆に、観光客は対価を払い、観光事業者からサービスを買うことで地域資源を消費している。

しかし、現状では、町民と観光事業者や観光客との間に、こうした関係性は存在しない。町民の中には、観光地化することで、地域の景観や環境が損なわれることを危惧する人もいる。一方で、町民の1割は「宿泊業・飲食サービス業」に従事しており、町民であると同時に観光事業者としての側面をも併せ持っている。持続可能な観光の観点で言えば、この3者は経済的なつながりだけでなく、同じ地域資源を利用するステークホルダーと言える。したがって、従来の観光では立場の相違や重複によって複雑化していた関係性が、地域資源の持続可能な利活用という点では、ステークホルダーとして立場を共有できるのである。重要なことはこうした理解に基づいて、地域資源の価値を理解し敬意を払いながら、それらの保全し活用するプロセスに参画できる機会を具体的に創造することである。例えば、町民の保全活動に観光事業者が企業の社会的責任（CSR）活動の一環として支援したり、観光客が町民の地域資源保全活動に寄付をしたりできる仕組み等が考えられる。



出所：筆者作成

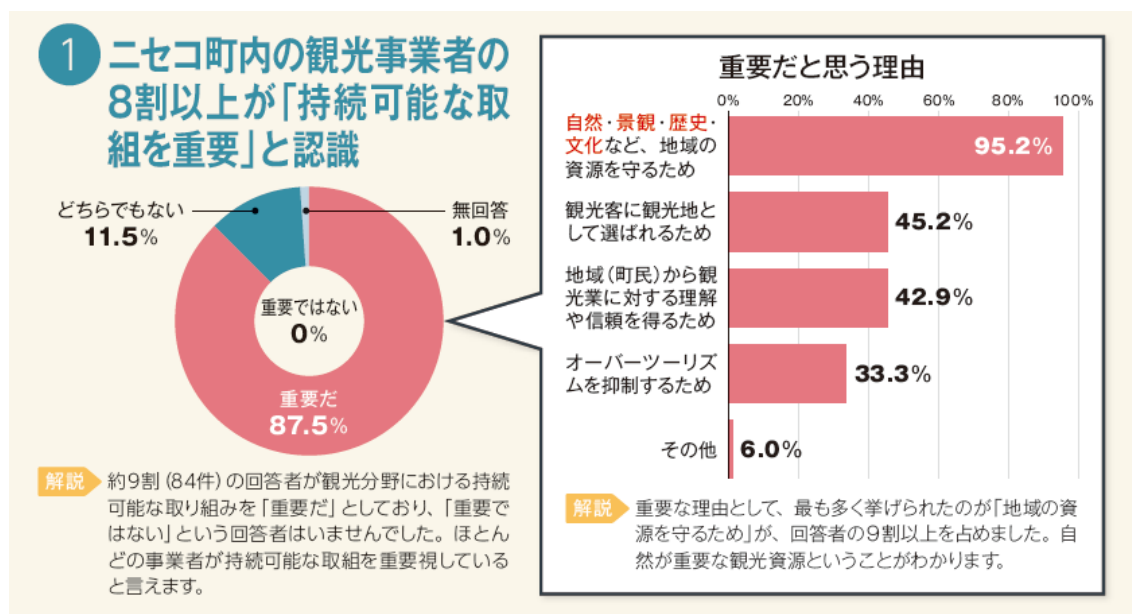
図2 ステークホルダーの関係性

2.2 ステークホルダーによる地域資源の保存と活用

環境、経済、地域社会の適切なバランスが保たれることが持続可能な観光の実現には重要である。観光庁（2020）によると、ニセコ町内の観光事業者（アクティビティ、宿泊、飲

食、土産、物産、交通、観光施設等）200社を対象に持続可能な観光についての意識や取り組みについてアンケートをしたところ、96社から回答を得ている（図3）。ニセコ町では町内の観光事業者の約9割（ $84/96=87.5\%$ ）が「持続可能な取り組みを重要」と認識しており、地域への貢献として清掃活動を挙げた観光事業者は5割（ $45/96=46.9\%$ ）にのぼる。特に、観光事業者の自然資源を汚さない・大切に使う意識は高く、町民や観光客を巻き込んで自然資源の保存活動等のけん引役となることが期待されている。

また、観光客に対しては、これまでゴミの分別や植物採掘の禁止など、基本的な事項に関する協力のみが求められてきたが、地域資源に対する「旅行者のふるまい」についてガイドラインを設定するなど、より具体的かつ実効的な取り組みが必要とされている。今後、観光客を単なる消費者ではなく、「責任ある旅行者」に育てていくためには、何よりもニセコ町内の観光事業者や町民自身の意識啓発、そして参画の拡大が求められる。



出所：観光庁（2020）より転載

図3 持続可能な観光に関するアンケート調査結果

文 献

観光庁

2020 『ニセコ町持続可能な観光に関する調査レポート』観光庁。

観光庁・UNWTO 駐日事務所

2020 『日本版持続可能な観光ガイドライン』観光庁。

